

ナンバリング	B④05	科目名	音楽表現演習Ⅱ		担当教員	明石現 大局澤ちづる 福中琴美 松井直子
ディプロマポリシーとの関連性	①	担当形態	クラス分け・単独			
テキスト	ピアノコース：「バスティン おとなのピアノ教本 Book 1」株式会社東音企画 ギターコース：「新ギター教本」ギタラ社 共通テキスト：「こどものうた100」チャイルド本社 適宜、楽譜や資料を配布する。		単位数 授業形態	1単位 演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノやギターなどの伴奏楽器を弾きながら、10曲以上の「こどものうた」を歌う表現技術が身に付く。また、独奏曲の演奏を通して、それぞれの楽器の特性を生かした演奏法が身につく。 ・20曲以上の「こどものうた」を知るとともに、それらを歌う表現技術が身につく。 ・音楽理論の基礎的な知識（読譜、拍子、リズム、コードネームなど）について理解を深め、活用できる。 <p>■授業の概要</p> <p>保育の内容を理解し、展開するために必要な保育の表現技術の一つである歌唱およびピアノやギターを用いた弾き歌いの力量を高めることを目的として、少人数によるグループ授業を行う。こどもの歌の弾きうたいを通して豊かな感性や音楽的表現力の向上を目指す。授業では歌唱、授業内での実技発表、音楽理論の筆記試験、実技試験を実施する。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 夏休みの課題 第2回 メジャーコードによる弾き歌い① 第3回 メジャーコードによる弾き歌い② 第4回 メジャーコードによる弾き歌い③ 第5回 音楽理論の基礎とコードネーム 第6回 伴奏パターン① 第7回 伴奏パターン② 第8回 伴奏パターン③ 第9回 独奏曲 第10回 マイナーコードによる弾き歌い① 第11回 マイナーコードによる弾き歌い② 第12回 音楽理論の筆記試験および解説 第13回 学生と教職員コンサートへの参加と鑑賞 第14回 実技試験 リハーサル 第15回 実技試験・まとめ・2年次への課題</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業前に、必ず実技の課題に関する自己練習をしておくこと。 ・終了した課題曲に関しても日常的に復習をして、レパートリーの蓄積をすること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題曲の達成度・弾き歌いの実技試験 — 50% ・音楽理論の筆記試験 — 30% ・授業内の取り組み — 20% 						
参考文献	「こどものうた200」チャイルド社 「続こどものうた200」チャイルド社 「保育者・教師をめざす人、生まれ！みんなピアノだい好き！」全音楽譜出版社 「マンガでわかる楽譜入門」誠文堂新光社		特記事項	単位修得には10曲以上の弾きうたい曲達成が必要となる。継続的に自己練習を行うこと。 【課題等へのフィードバック方法】 発表に対しては適宜コメントをする。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択		幼保	保育の内容・方法に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容						